

道外所管事務調査

総務産業常任委員会

9月30日～10月3日



1:34:08より
15分
委員長報告

少子化対策、人口増加の取
り組みで成果をあげている
町や村に視察に行きました

所管事務調査は常任委員会で
所管している事項について、自
主的にテーマを設定し、審議に
必要な調査を議会の休会中に行
うものです。町から提案された
予算案や条例案などの議案審査
をするのとは違い現地に行って
視察、聞き取りをすることが多
くなります。
12月の定例会議で結果報告し
た内容を一部抜粋してお知らせ
します。

◆日本で出生率トップクラスの町

(岡山県奈義町)
なぎちやう

岡山県東北部に位置する奈義町は、平成24年に行政が町民へ約束することを目的に議会の議決で「子育て応援宣言」を行った。子育て支援策や若者定住施策を進め、令和元年に合計特殊出生率が日本トップクラスの「2.95」となり、子育て支援で注目を集める町となっている。

子育て応援施策

令和6年の春に保育園1園と



なぎチャイルドホーム

◆取材重視、問題提起型の議会だより

(鳥取県大山町)
だいせんちやう

町村議会広報全国コンクール等で多数の受賞実績がある鳥取県の西部に位置する大山町で議会だより編集等の調査を行った。

「議会だよりだいせん」の概要

大山町議会の「議会だよりだいせん」の令和6年の予算は、印刷製本費として206万8千円、表紙と裏表紙がカラー印刷、内部の紙面は青と黒の2色刷り約28ページの編集構成となっている。委員は編集作業を主に担う「デスク」と原稿作成や町民意見の収集、写真収集を担う「記者」に分かれて活動している。

紙面制作方針

「読みやすい広報誌」にするとともに、「〇〇に興味関心の薄い若い世代」（あえて〇〇は空白としているとのこと）に読んでもらわなければ意味がないという考え方で編集している。

【所見】大山町議会は、オンライン等の有効活用により情報共有や編集作業の効率化を図るとともに、町民の興味を引く紙面